



29 南東北インターハイ NEWS

H29. 5. 12 No.25

「南東北インターハイ カウントダウンイベント」開催！

平成29年4月23日（日）、郡山駅構内特設ステージにてカウントダウンイベントが開催されました。

オープニングでは、安積黎明高校合唱団の美しい歌声が構内に響き渡り、観客からは大きな拍手が起きました。そして、県実行委員会鈴木淳一会長（県教育長）のあいさつの、カウントダウンボードの除幕式、各地区高校生活動推進委員会から県内開催競技の紹介、平商業高校のフラダンス愛好会や郡山商業高校のチアリーディング部の演技が披露されました。また、本県開催競技を代表して、学校法人松韻学園福島高校空手道部の迫力ある演武披露でイベントが盛り上がりました。



安積黎明高校合唱団



平商業高校フラダンス愛好会



郡山商業高校チアリーディング部



学校法人松韻学園福島高校空手道部



カウントダウンボード除幕式



県・地区高校生活動推進委員会

学校法人松韻学園福島高校空手道部が県政広報番組に出演しました！

学校法人松韻学園福島高校 空手道部

取材日：平成29年4月26日（水）

取材場所：学校法人松韻学園福島高校 武道場

顧問の松原光先生、副顧問の本間大造先生の指導の下、選手たちは真剣に練習に取り組んでいました。練習後、男子主将の菅崎飛生雅君、女子主将の遠藤あかりさん、渡部雄飛君がインタビューに答えてくれました。

空手道の見所はどんなところですか？

菅崎君：「形競技では、1つ1つの技の早さ、強さ、美しさが求められます。技の切れと正確さ、残心までの動きを観てください。組手競技では、動き出しの早さと残心、相手との駆け引きが勝敗を左右します。緊張感がみなぎる試合展開を楽しんでもらえればと思います。」

空手道を始めたきっかけはなんですか？

遠藤さん：「兄が空手道をやっていたことがきっかけです。早さや体力では男子にかなわないこともありますが、大会まで技術面、体力面も向上させながら男子にはない技の柔らかさを磨いていきたいです。」

地元で開催されるインターハイへの思いを聞かせてください。

渡部君：「高校生最後のインターハイが地元福島県で開催され、その大会に出場する機会を与えてもらえるのは貴重な経験だと思います。3年間の集大成として悔いの残らない大会にしたいです。」

生徒たちに期待していることは？

松原先生：「ぜひ決勝コートで活躍している姿を見たいですね。生徒たちの努力した姿を一試合でも多く見て欲しいと思います。」



空手道の紹介は、5月9日（火）福島中央テレビ「コジてれ Chul!ふくしま未来通信」の中で放送されました。